

令和7年10月 予算決算常任委員会 総括質疑より

県政レポート

political affairs activity report

～人を活かし、人をつなぐ。そして東紀州の未来を拓く～

発行 東ゆたか
三重県議会議員

〒519-3204 北牟婁郡紀北町東長島 2338-3
TEL 0597-47-5228 FAX 0597-47-5239
ブログ <http://www.yutakah.com>
メール higashi-yutaka@ztv.ne.jp



頌春

お健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年中はさまざまにご親切をいただき厚く御礼申し上げます。

東紀州地域は、少子高齢・過疎・一次産業など地場産業の衰退・自然災害など課題山積です。今年には東日本大震災から15年目を迎えます。防災意識を低下させることなく、南海トラフ地震の被害を最小限にするための事前防災、強靱化に引き続き取り組みます。

令和7年度所属委員会

- 予算決算常任委員会
- 防災県土整備企業常任委員会
- 伊勢茶の振興に関する条例策定調査特別委員会

皆様のお声をお聞かせください。



浮魚礁

磯焼け対策や浮魚礁 水産王国みえの復活へ

Countermeasures Against Isoyake and Fish Reef Projects: Reviving the Fisheries Kingdom of Mie.

東豊の質問

三重の水産業をどうしていくのかが大きな課題でございます。私が環境生活農林

水産常任委員会の所属のときに、ちょうど三重県水産業及び漁村の振興に関する基本計画ができたのですが、冒頭の言葉に「水産王国み

え」という言葉が入って、大変うれしいと思いました。以前、昭和の時代ですけれども、三重県は本場に立派な水産王国でございました。そんなこともありますので、ぜひ、水産業及び漁村の振興に関する取組について、部長にお尋ねをします。

一番は、やっぱり海洋環境が大きく変わったということであります。磯焼け対策の試験や実験をいろんなところで、いろんな研究、水産研究所も含めて取組をしていらっしゃると思いますけれども、私どもの熊野灘地域は、イセエビとかアワビだとかナガレコとかサザエとか、つまり沿岸の魚介類がほとんどというほど、ヒジキも含めて、以前とはもう様変わりしている状況です。その回復をぜひやってほしい、どうにかならないのかっていう声がもう日に日に強くなってきていますし、本当に疲弊感が漂っています。



箱型ネット（波切）を使用した試験

ら、黒潮の大蛇行の終息によって、海水温も下がって来るとは思います。これが急に海況がよくなるというふうなことはないと思いますので、南方系の暑さに強

その取組について、成果と今後の展開についてお尋ねします。また高水温による海水温の高温化で魚類の動きが活発になり、アイゴとかブダイとかの植食性魚類が活発に活動し、食害、ガンガゼなどもそうなんです。磯焼けがますます進んでいるということですね。そのことに対して、藻場の再生事業に向けた県単沿岸漁場整備事業の中での取組についても併せてお聞きしたいと思っています。また黒潮大蛇行が終息という情報が入っていますが、確実に水温が下がってきていますが、藻場の回復というのがどのようになるの

枡屋典子 農林水産部長の答弁

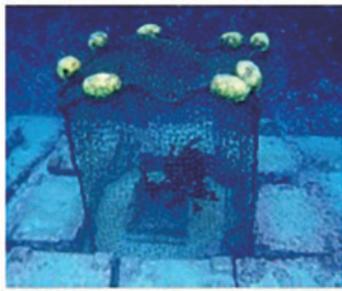
か、希望の一つではあるわけですが、食害が非常に大きくなっているということですね。令和4年度から、籠、ネットによる試験をやっているところですね。6年度からは、漁業者が簡単に設置できるような1メートル四方の籠でもできないかということで、調査研究をしているところです。籠の目の大きさとか、それから維持管理でどれだけかかるかということも、今後は現場実装に向けた取組をやっていくこととしていますし、核藻場って言うって、藻礁ブロックで核となるところから胞子を飛ばすような実験もしていきたいというふうにも思っています。

活発化させておりまして、これが、食害が非常に大きくなっているということですね。令和4年度から、籠、ネットによる試験をやっているところですね。6年度からは、漁業者が簡単に設置できるような1メートル四方の籠でもできないかということで、調査研究をしているところです。籠の目の大きさとか、それから維持管理でどれだけかかるかということも、今後は現場実装に向けた取組をやっていくこととしていますし、核藻場って言うって、藻礁ブロックで核となるところから胞子を飛ばすような実験もしていきたいというふうにも思っています。

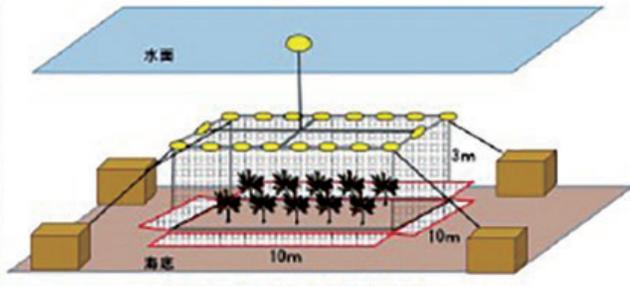
東豊の質問

海藻の再生については、予算をきっちりつけていただいていることは全て、いろんな挑戦をしていただきたいと思

います。次に、食料安全保障を担う漁業者の経営安定を図るための県の直接的支援（助成金）の現状についてお尋ねします。これは、昨年度も。セーフティーネット個人負担分への支援の件ですが、昨年度も補正予算での対応で養殖漁業者への直接支援で急場をしのい



箱型ネット（小型）



仕切網（大型）



核藻場（種の供給源）の整備



ネット外の海藻幼体

藻場回復に向けての取り組み

だところでした。つまり養殖事業者に対する配合飼料高騰による助成金ですが、令和6年度のいわゆる物価高騰対策、緊急経済対策の中の交付金の中で、助成をしていただきました。今年度に於いても、後継者とか若い人たちが、養殖産業を持続可能な産業にするために、セーフティーネットの掛金、個人負担分への助成をしていただきたいと思います。それも国の新たな経済対策の中に盛り込まれていまして、当然補正予算が決定すれば、県にも入ってくるので、それをぜひ、この水産王国みえの復活というところで、ぜひ養殖産業への支援を要請します。もう一つ、熊野灘における漁船漁業の漁獲量確保について、浮魚礁設置の件です。以前は4基ありましたが、流出によって1基になって、今3基で動かしているということですが、もともと4基あったので、ぜひその4基目も、設置要望が出ていますので、県としての方針と対応をお尋ねします。これは実績として、一本釣りも縄漁もですが、大体300隻ぐらいいが、浮き漁礁に行けば必ず魚が釣れる、特にカツオが釣れる、魚価の高いカツオが捕れるということなので、本当に支えになっている魚礁ですので、いろんな関係機関と協議しないといけないとは思いますが、ぜひお取組についてお聞かせ

をいただきたいと思えます。

柘屋典子 農林部長の答弁

まず、セーフティネットのほうについてお答えしますけれども、こちらのほうも国の経済対策がなれば、遅れをとることなく、ぜひ実施していきたいと考えておりますし、浮漁礁の4基目の件でございます。浮漁礁を造ることによって、非常に漁業者の漁獲高も上がっているし、燃料費の節約にもなっていると聞きしていますので。ただ、4基目で要望いただいている場所が今まで設置したことがない場所ですので、効果が本当にあるのかとか、海底の固定ができるのかとか、あるいは大型の船舶が通る航路にもなりますので、そこら辺の調整もしながら、検討していきたいと思っております。

東豊の質問

ありがとうございます。
セーフティネットの件は、昨年の実績ですと、大体85経営体に支援をいただいております。とても助かっているというお話です。そのぐらい、飼料の高騰、養殖の餌の高騰がずっと高止まりですので、今年も引き続き対応をよろしくお願いします。

不登校対策への取り組み・学びの多様化学校

Efforts to Address School Absenteeism and Promote Diverse Learning Opportunities.

東豊の質問

次に不登校の対策について、来年度の国の概算要求でいくと、今年の大体2.5倍から3倍ぐらい、この不登校対策についての相談員の人件費は増額されるようです。これはもちろん、国が決まってくる話ですが、当然三重県も予算要求されていると思いますので、予算はそれなりについたとしても、現場の指導員や相談員の確保がなかなか難しいということがありますので、ぜひお取組をよろしくお願ひ申し上げたいと思ひます。

学びの多様化への対策が非常に重要と考えます。今年9月に、自民党系議員有志で北海道の夕張郡長沼町というところに、まおい学びのさと小学校を訪問しました。また、10月には、和歌山県の田辺市中辺路町にあるうつほの杜学園小学校を、これは教育警察常任委員会の有志のメンバー

と一緒に現地調査をしてきました。ここでは、不登校対策の1つですが、コロナ禍ということもあるわけですが、子どもの様子というのが変わってきていますし、今年も小中

学校で速報値ですが191人増えました。増えたというのは同時に、保護者の家庭が、すぐく生活に行き詰まり感を感じるわけです。小学校1年生、2年生、3年生が、今日学校に行きたくないよって言った途端に、もうどうしていいの、心の置き場所がなくなってくるのです。明日は学校に行ってくれるのかなって、その悩みの相談をよく受けます。また少しそういう話を話題にすると、実に多くの保護者方たちからお話をいただきます。そんなような状況は、いろいろと原因はあると思ひますが、その中で、今申し上げた調査先の学校の例を引くと、自分たちで学校をつくらうというお考えで、先の和歌山県内の私立学校については、探求型、グローバル教育を目指して、バカロレア校を目指すとこの志で設立して、着想から5年間で、この春に開校までこぎ着けたということがあります。そこは世界遺産熊野古道のエリア

カリキュラム特色1

教科横断のプロジェクト授業

5年間で30の探究プロジェクト

IBバカロレアが提示する6つのテーマ

- ① 私たちは何者か
Who we are?
- ② 私たちはどのような場所と時代にいるのか
Where we are in the place and time?
- ③ 私たちはどのように自分を表現するのか
How we express ourselves
- ④ 世界はどのような仕組みになっているのか
How the world works
- ⑤ 私たちは自分をどう組織しているのか
How we organize ourselves
- ⑥ この地球を共有すること
Sharing the planet.

うつほの杜学園「探究」授業の年間テーマ

- 1年生：生命について学ぼう
- 2年生：水について学ぼう
- 3年生：山について学ぼう
- 4年生：道について学ぼう
- 5年生：エネルギーについて学ぼう
- 6年生：地球について学ぼう

使用する概念 ・特徴・機能・原因・変化・関連・視点・責任

うつほの杜学園小学校の探求型グローバル教育

野古道のエリア



うつほの杜学園小学校での現地調査

にある学校だということ、最初に冠としてありまして、とても感心したところでした。

そこでお尋ねです。県内にも、私の周辺も含めて、移住者も含めて、体験探求型のキャリア教育の学校をつくりたいという方々が少数ですが、日頃考えていらっしゃる方はいらっしゃると思ひます。もしそのようなお

問合せが、市町に一番先に相談に訪れるかもわかりませんが、2校はそれぞれ廃校されたものを無償で借り受けているという状況でした。県として、いわゆる学校法人で「学校教育法」に第1条に定められた1条校を設置したいと相談があった時に、どういう手続をしたらいいのかとか、どういうハードルがあるのかを、丁寧に聞いていただきたい



**楠田泰司
環境生活部長の答弁**

と思うのですが、部長の御考えをお聞きます。

保護者の方々が学校をつくりたいという場合には、まず学校法人新設のための寄附行為の認可というのと、それと学校を設置するための認可の2つが必要になります。そして、我々は、学校が安定に運営できるように、教職員とかの数とか、学則とか、教育課程とか、そういうのを見させていただきますが、今後そういう相談があった場合

東豊の質問

は、非常に専門性の高い内容でもありますが、丁寧な相談に乗って、必要な助言を行っていききたいと思っております。

ありがとうございます。丁寧に対応していただきたいと思います。先の成功事例やロールモデルを視察調査し感じたのは、やはり各市町の行政当局と教育長が一緒にやろうという心構え、県も一緒にやろうという心構えがあつて初めて実現したのだと思いました。

次に知事にお尋ねします。実は明日、JR東海が臨時の夜行列車を走らせ、名古屋を夜中に出発して朝の伊タダキ市へのツアーが実施されます。JRと、県南部地域振興局や観光局と連携を強化し、引き続き取り組んで頂きたいと思っております。レールとく大事ですので、今後への

一見勝之知事の答弁

抱負など御所見をいただければと思います。

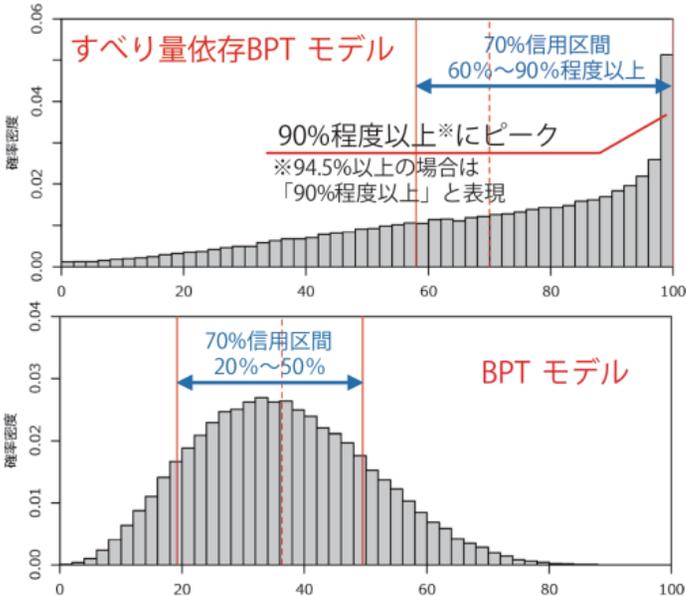
しっかりと連携を取りながらやっていきたいと思つて、特に南部は交通が非常に重要でありますので、地域のにぎわいを確保するため、連携を取りながら、県としても支援をしていきたいと思つています。



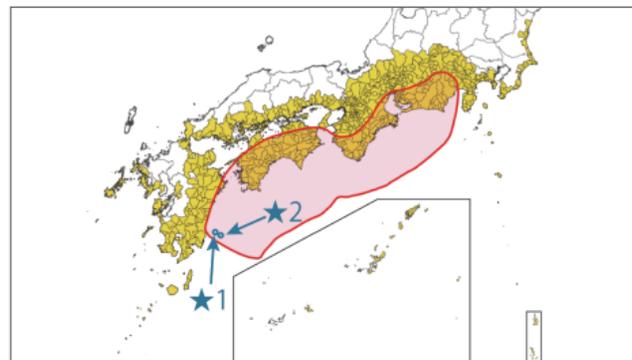
JR東海が企画 「尾鷲イタダキ市」に向けた夜行列車の運行

南海トラフ地震の発生確率と算定法の見直し

南海トラフ地震の発生確率が、今後30年以内に「80%程度」から「60%～90%程度以上」に変更されました。この変更は、過去の地震データに基づく誤差を考慮し、より正確な確率を算出するために行われました。これまでの「80%程度」の算出には、江戸時代の2回の南海トラフ地震で高知県内の港が隆起した高さ、次の地震までの時間に関係性があるとする理論に基づいた「時間予測モデル」(計算手法)の1種類が使われてきました。ただ、根拠となる江戸時代の記録は古文書の解釈が分かれ、潮位の考慮などデータの精度に不明な点が多い、とする研究論文が昨年発表されたため、モデルに隆起量や計測値の不確かさを考慮できる計算手法の1つであるすべり量依存BPTモデルを取り込み、「80%程度」から「60～90%程度以上」に更新されました。誤差を反映するため、幅を持った数値になりました。さらに、他地域の地震に使うBPTモデル(ブラウン緩和振動過程モデル)で計算した「20～50%」も、主な確率として新たに併記しています。防災対策では、より高い確率「60～90%程度以上」を重視することが推奨されています。



南海トラフにおける今後30年間に地震が発生する確率の分布(赤実線は信用区間70%の範囲、赤点線は平均値、横軸は%)



- 南海トラフ地震で大きな被害が見込まれる地域 [南海トラフ地震防災対策推進地域] 指定基準の概要
 - ・震度6弱以上の地域
 - ・津波高3m以上で海岸堤防が低い地域
 - ・防災体制の確保、過去の被災履歴への配慮
- 南海トラフ巨大地震の想定震源域

- ★1 令和6年8月8日の日向灘の地震(M7.1) 巨大地震注意
- ★2 令和7年1月13日の日向灘の地震(M6.9) 調査終了

謹んでご一家の平安を心よりお祈り申し上げます。

令和8年1月 三重県議会議員 東 豊